



ともしび

— TO MO SI BI — 第244号

2016(平成28)年8月号

孟 蘭 盆 会

梅雨が明け、毎日暑い日が続いてお
ります。今年は(今年も?)猛暑にな
るようです。毎年、夏になれば暑い暑
いと文句を言い、冬になれば早く温か
くなつてほしいなどと、私たち人間の
心はいい加減なものです。皆さまはい
かがお過ごしでしょうか。

さて、8月はお盆の時期になります。
およそ13日〜16日にかけて、お墓
やご縁のあるお寺にお参りに行かれ
ることでしょう。お盆は、タイトルに
もあるように、正式には孟蘭盆会(う
らぼんえ)と言います。お釈迦さまの
説かれた「孟蘭盆経」がもととなつて
います。

お釈迦さまの弟子である目連尊者
が亡き母を餓鬼道という苦しみの中
界から救い出すお話が説かれていま
す。そのお話を通して、他の誰でもな
く、私自身が仏法を聞き、浄土へ生ま
れる真実の教えに目覚めていくこと
が、浄土真宗のお盆の本当の意味なの
です。

東京と地方とでは、お盆の時期に違
いがあります。これは元々旧暦である
7月15日にお盆はお勤めされてい
ましたが、明治以降、新暦に改められ
たため8月になりました。しかし、江
戸っ子は8月まで待てないというこ
とから、現在でも旧暦の7月がお盆に
なったのだそうです。

東京に來た頃は、あまり馴染みがな
かったので少し戸惑いましたが、東京
での生活が8年以上経った今はすつ
かり慣れ、7月は孟蘭盆会、8月は旧
盆会と年2回お盆をお勤めすること
が当たり前になりました。私の故郷で
ある山口県では8月がお盆なので、学
生の頃は、お盆には帰省して約1週間
かけ、当時住職であった父や兄と手分
けをしてご門徒さんのお宅へお盆参
りに伺っていました。

そんなある年の暑い夏、その日はお
盆参りの最終日でした。我が家では、
お盆参りが終わった後は慰労会と称
し、バーベキューをするのが恒例でし
た。当然私もお参り後のバーベキュー
を楽しみにしながら、汗を拭き拭きご
門徒のお宅へお参りしていました。

そして、最後のお宅のお参りが終わ
り、お茶を出された時にその方から、
「なぜ、こんなに遅くなったのです
か。」と言われました。どうやら、い
つもより遅い時間になったのが気に
入らなかった様子でした。今なら「遅
くなってすみませんでした。」の一言
で済む話ですが、当時は経験も浅く血
の気も多かった私は、

「この暑い中、沢山の
お宅へお参りに行った
のに、そんな風に言わ
れたくないですよ。」と
言って、そのお宅を出
てお寺へ帰りました。

そのことを坊主である母に言うとう
すぐにそのお宅へ電話して謝ってお
りました。大変お恥ずかしい話ですが、
時効ということでご容赦願います。そ
の日の慰労会は予定通り行われまし
たが、ビール味の味はいつもより少し苦
く感じたような…

お盆が近づくと、そんなほろ苦い経
験を思い出しながら、改めて襟を正し、
法務に励む気持ちを新たにすること
です。



仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. 臨終の時、仏壇を開める？

A. 仏壇の扉は開ける

亡くなられたときに行うお勤めを臨終勤行と言います。自宅にお仏壇がある場合は、お仏壇の前に遺体を安置し、お仏壇の扉を開けてお勤めします。ときどきお仏壇を閉めておられるお宅がありますが、私たちがお勤めするのは、遺体に対してではありません。お仏壇の阿弥陀さまに対して、その心を仰ぎ聞くためにお勤めするのです。真実の浄土を建立され、そこへ「必ず救いとる」と誓われ、亡き人との別れに嘆き悲しむ私たちには「大丈夫だよ。私がついていくから…」と励ましてくださる仏さまのお心をいただくのです。

浄土真宗の教えでは、日ごろ、念仏の救いを信じ喜んでおれば、臨終の時の様子がどうであれ、必ず浄土に生まれさせていただけます。つまり、平生に浄土往生が決定しているわけです。

が、臨終に当たっても、平生のごとく阿弥陀仏の間違いのない救いを確認し味わうお勤めを行うということです。

亡き人も私たちも、行く末の足取りは覚束なく、とても自分たちの力で真実の浄土に生まれることな
どできません。
不安と恐怖、寂しさや悲しみに覆われ戸惑う私たちを、しっかりと抱きとり救ってくださるのが阿弥陀といわれる仏さまです。平生はもちろん、一連の葬儀についても、阿弥陀さまに対して礼拝しお勤めするのです。



もし、会館などお仏壇のない場所なら、お名号などのご本尊を奉懸してお勤めします。なお、お釈迦さまが入滅された時の方角に合わせ、遺体は頭を北に向けますが、お仏壇との位置や部屋の都合で他方向になってもかまいません。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

伝灯奉告法要
団体参拝募集！

第25代専如門主の伝灯奉告法要が10月よりいよいよ京都本願寺でお勤めされます。これまでも、会報でお知らせしてきましたが、この度、参拝を募集いたします。詳細は別紙チラシをご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

日程 10月19(水)～20日(木)

定員 15名

金額 52,000円

※奉讃会々員の方は、会より補助金を出します。

平成28年の年回表
※ご法要のお申込みをお忘れなく

平成28年 年回表	
1周忌	平成27年
3回忌	平成26年
7回忌	平成22年
13回忌	平成16年
17回忌	平成12年
23回忌	平成6年
25回忌	平成4年
27回忌	平成2年
33回忌	昭和59年
50回忌	昭和42年

7月行事の様子

★ご門主様築地本願寺ご巡拝 7月7日(木) 13時30分～17時00分

第25代専如門主の法統継承並びに伝灯奉告法要を迎えるにあたり、築地本願寺ご巡拝されました。当会館からは11名の皆さまが参拝されました。

勤行「讃仏偈」



パイプオルガンコンサート



築地本願寺本堂入口にて



築地の本堂にて



当日は、猛暑・炎天下の中、ご門主様をお迎えし、パイプオルガンの演奏、式典、記念撮影などが行われた後、「ご縁フェスタ」では盆踊りに多くの方が来院されました。

★常例法座 7月10日(日) 13時00分～15時00分

「正信偈」をお勤めした後、当会館ではお馴染みの毛利祥真師をお迎えし、ご法話をいただきました。20名の皆さまにお参りいただきました。

勤行



梅雨の晴れ間の暑い中、正信偈をお勤めし、ご講師・毛利祥真師からは、蓮如上人の「御文章」をもとにわかりやすくお話しいただきました。

7月のお誕生日の皆さま



お誕生日おめでとうございます。これからも元気にお参りください。

毛利祥真師



▶ 8月の行事予定

孟蘭盆会・永代経法要 納涼懇親会

8月7日(日) 午後1時～

ご講師 白川淳敬 師

(東京都 正法寺)

お盆の法要です。ご自宅へのお参りもご希望の方は伺います。



親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

8月16日(火) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

▶ 9月の行事予定

境内清掃

9月10日(土) 午前9時～

境内の草取りを中心に行います。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
※雨天時は中止となります。

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日(日) 午後12時45分～

今年で36回目となる追悼法要です。
戦後70年以上が経過しましたが、
平和への思いを新たにす法要です。

秋季彼岸会

9月22日(木) 午後1時～

ご講師 北村 信也師

(東京都 稱讃寺)

お気軽にお参りください。



今月のお仏飯米のご進納

7月2日境内清掃お手伝い

奥川 眞三様 北川 康雄様
石田 竹男様 高橋 操様
北川 康雄様 菅野 ヨシコ様
神谷 正弘様 大嶋 弘様
大嶋 貢子様 森澤 忠和様
田口 康子様 西 ユリ子様
浅野 由美様 高田 テルハ様
加藤 吉長様 渡辺 タキ子様

ありがとうございます。

編集後記

先日、町内の盆踊り納涼会に参加しました。子ども達には浴衣や甚平を、私も張り切って浴衣を着て会場へ。そして会場へ着いてみると、意外にも大人は誰も浴衣を着ておらず、少し浮いた存在になってしまいました。(安)

東久留米会館会報 「ともしび」

第244号

発行日 2016年8月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787